



ひばり

<http://www.meguro.ed.jp/meguro3j/> mail meguro-3j@meguro.ed.jp

目黒区立第三中学校

学校だより
特別号

平成25年(2013)
3月8日(金)

「健康で、思いやりがあり、自主的に学びながら、
行動できる」三中生

三中の学校目標を上記のようなめざす生徒の姿として、短い言葉に要約して表しました。皆様に覚えていただけるよう、毎回「ひばり」の表題の下に載せさせていただきます。

■平成24年度学校評価の集計結果と考察

11月に実施した「学校評価アンケート」の集計結果のまとめを、3月の保護者会に向けてお知らせします。アンケートにご協力いただきありがとうございました。この結果を分析し、次年度の教育課程に活かしていきたいと考えます。

A～十分達成されている B～ほぼ達成されている C～あまり達成されていない
D～ほとんど達成されていない E～わからない

1. 生徒への設問（全体）

(1) 生徒の設問で肯定的評価が高かった（A+Bが80パーセント以上）設問は、以下の設問である。

設問番号	設問内容	割合				
		A	B	A+B	C+D	E
1	学校生活は充実していますか。	61.1	31.5	92.6	6.2	1.2
2	あなたは、よい友人関係が築けていますか。	75.3	19.1	94.4	4.9	0.6
4	あなたは、第三中学校に満足していますか。	51.9	34.0	85.8	10.5	3.7
5	あなたは、学校の教育目標や学年目標などについて、理解していますか。	35.8	48.1	84.0	12.3	3.7
7	あなたは、命を大切にし、思いやりの心をもって生活していますか。	57.4	34.0	91.4	5.6	3.1
8	道徳の時間は、資料や活動が工夫されており、充実していますか。	48.1	34.0	82.1	13.6	4.3
9	あなたは人とのかかわりの中で相手を尊重して接していますか。	50.0	42.0	92.0	4.9	3.1
10	各教科の学習は、分かりますか。	40.7	43.2	84.0	14.8	1.2
12	教材や教え方、学習活動を工夫した授業をする先生が多いですか。	35.8	45.7	81.5	12.3	6.2
15	学校行事や生徒会活動、部活動では、充実感を得ていますか。	61.7	27.2	88.9	8.6	2.5
16	学校行事は、生徒が主体となって活動できるように工夫されていますか。	67.3	27.2	94.4	4.9	0.6
17	生徒会活動では、よりよい学校生活を目指して、関心をもって取り組んでいる生徒が多いですか。	45.7	35.8	81.5	11.7	6.8
18	あなたは、学校できまりやマナーを守り、落ち着いて勉強していますか。	48.8	40.1	88.9	9.3	1.9
19	あなたは、災害時に自分の安全を守るため、適切に行動することができますか。	51.9	39.5	91.4	4.9	3.7
20	あなたは、事件や事故の防止のための活動や訓練に真剣に取り組んでいますか。	57.4	35.2	92.6	5.6	1.9
21	学校では、一生けん命に運動をしたり、健康に気を付けたりして生活していますか。	54.9	34.0	88.9	9.3	1.9
22	先生は、生活指導上の問題について気を配り、見逃さずに対応してくれますか。	44.4	38.3	82.7	12.3	4.9
25	少人数指導によって、学習に対する意欲や関心が高まってきましたか。	42.0	40.1	82.1	14.2	3.7

①設問の中で、昨年と比べ、肯定的評価が5%以上上昇した設問は、以下の設問である。

設問番号	設問内容	24年度	23年度	差
1	学校生活は充実していますか。	92.6	83.2	9.4
4	あなたは、第三中学校に満足していますか。	85.8	72.9	12.9
5	あなたは、学校の教育目標や学年目標などについて、理解していますか。	84.0	78.1	5.9
15	学校行事や生徒会活動、部活動では、充実感を得ていますか。	88.9	81.3	7.6

19	あなたは、災害時に自分の安全を守るため、適切に行動することができますか。	91.4	83.9	7.5
----	--------------------------------------	------	------	-----

②考察）全体的には、肯定的評価が高かった設問は、27の設問中18あり、学校の教育活動に全般に関しては、肯定的であると考えられる。さらに、昨年度と比較し、肯定的評価が5パーセント以上、高くなった設問が、5つあり満足度が高まっていると考察できる。

また、学校目標の理解に関しては、認知が進むように工夫した結果が反映したと思われる。さらに、設問19のように積極的な防災教育によって生徒の防災意識も高まっていると考えられる。

(2) 生徒の設問で否定的評価が多めだった（C+Dが30パーセント以上）設問は、以下の設問である。

設問番号	設問内容	割合				
		C	D	A+B	C+D	E
11	授業はきまりが守られており、落ち着いた雰囲気の中で行われていますか。	29.0	9.3	56.2	38.3	5.6
23	相談室や保健室等は、気軽に相談できる場所になっていますか。	22.2	13.0	50.6	35.2	14.2

①昨年との比較で大幅に肯定的な評価が下落した項目ではない。

②考察）11の設問は授業規律に関する設問だが、否定的評価は、2年<3年<1年の順で多くなる。授業観察をすると、一部の教科で私語等が多い場合があるので、そのために数値が否定的な評価が多くなったと思われる。授業規律の更なる徹底が次年度への課題とする。

また、23の設問で否定的な評価が多いのは、本当に必要としている生徒のために開設されている要素が高い上、相談室についてはスクールカウンセラーは週1回の勤務のため、一般生徒には開放的な場所でないことも原因していると思われる。現状で、気軽に相談できる場所へ改善していくのは困難であるが、メンタルヘルス面での情報発信の工夫などとしていくと、もう少し身近な存在にする必要がある。

(3) (1)・(2) で触れなかった設問の結果は以下のとおりである。

設問番号	設問内容	割合				
		A	B	A+B	C+D	E
3	先生たちは、生徒のことを考えて指導してくれますか。	38.9	38.9	77.8	13.6	8.6
6	あなたは、学校生活の中に教育目標などが反映されていると感じますか。	22.8	45.7	68.5	21.0	10.5
13	総合的な学習の時間では、自分で課題を見つけ、追究したり、考えをまとめたりする学習が多いですか。	34.0	42.6	76.5	19.1	4.3
14	授業や学級活動などで、将来の進路や生き方について考える機会がありますか。	40.7	35.8	76.5	17.9	5.6
24	学校では、多くの魅力的な部活動が進められていますか。	42.0	26.5	68.5	24.1	7.4
26	放課後学習教室によって、学習に対する意欲や関心が高まってきましたか。	27.2	29.0	56.2	17.9	25.9
27	人権の授業や道徳の授業で『豊かな心』は生まれましたか。	40.7	35.8	76.5	13.0	10.5

①どの項目も肯定的評価が70%前後、否定的評価も25%以下となっている。

②考察）これらの項目は教育活動の充実により、肯定的評価あがる可能性を持っている。

設問3・設問6・設問27の数値を上げるのは、日々の指導内容の向上が必要になると考える。設問24の部活動に関しては、教員数・生徒数に制約されて部活動の開設数が少ないため、現状では数値の向上が難しい状況にある。設問13については、総合的な学習の時間数が、学習指導要領の改訂のため減っているため、生徒が身近に感じて回答するのが難しくなった考える。

また、設問14のキャリア教育に関する設問だが、学年により肯定的評価にばらつきがあり、目先の進学で手一杯な3年生が特に肯定的評価が低く、全体に低めとなっている。次年度は、3年生になっても「生き方」に関する教育を実施する必要がある。

さらに、設問26の放課後学習教室は受講している生徒が一部の生徒であるため、肯定的評価の全体的な数値は低めである。数値を上げるためには、補習的要素以外の発展的な要素の学習教室を実施する必要がある。

2. 保護者への設問（全体）

(1) 保護者の設問で肯定的評価が高かった（A+Bが80パーセント以上）設問は、以下の設問である。

設問番号	設問内容	割合				
		A	B	A+B	C+D	E
1	子どもたちは、充実した学校生活を送っている。	21.3	69.7	91.0	8.4	0.6
2	子どもたちは、仲良く学校生活を送っている。	18.7	69.0	87.7	11.6	0.6
3	教職員は、誠実に子どもや保護者に接している。	23.9	58.1	81.9	14.8	3.2
5	学校の教育活動には満足している。	16.8	63.9	80.6	15.5	3.9
6	学校の教育目標や指導の重点は、子どもや地域の実態に合った適切な内容となっている。	19.4	65.2	84.5	5.2	10.3
7	(目標の理解) 保護者は、学校の教育目標や指導の重点等について理解し、共感している。	16.1	65.2	81.3	11.6	7.1
8	学校では、道徳の時間を含めた全教育活動をとおして、命を大切にすることや思いやりの心をもつ指導に努めている。	25.8	54.8	80.6	11.0	8.4

9	(道徳教育の充実)学校は、道徳の時間を中心に授業を公開したり、教材を工夫したりして、道徳教育の充実に努めている。	23.9	58.1	81.9	9.0	9.0
10	(体験活動の等の充実)学校は、豊かな人間関係を育むために、ボランティア活動や職場体験などの体験的な学習に積極的に取り組んでいる。	28.4	55.5	83.9	8.4	7.7
14	学校は、学校行事や生徒会活動、部活動の活性化に努めている。	21.3	58.7	80.0	16.8	3.2
15	(学校行事の充実)運動会や文化祭、球技大会などは、生徒主体の行事が展開されている。	34.8	59.4	94.2	3.9	1.9
16	(学校行事の充実)授業参観や学校公開日、各種行事の実施日は、保護者や地域の方ができるだけ参加しやすい曜日に設定されている。	30.3	60.6	91.0	7.1	1.9
18	学校は、災害に対する知識や、自分の安全を守るための対処の仕方などを確実に身に付けさせるとともに、適切な行動選択ができるよう指導に努めている。	20.0	61.9	81.9	5.2	12.9
22	学校は、学校や子どもたちの様子を分かりやすく伝えている。	25.2	54.8	80.0	16.8	3.2
24	学校が行う保護者や地域の方に対する説明会等は、会の持ち方や回数、内容について適切であると考えている。	19.4	61.3	80.6	10.3	9.0
26	学校は少人数授業や放課後学習教室等確かな学力の向上に努めている。	24.5	56.8	81.3	12.3	6.5

①設問の中で、昨年と比べ、肯定的評価が5%以上上昇した項目は、

設問番号	設問内容	24年度	23年度	差
4	保護者は、全体的に学校に協力的である。	74.8	66.0	8.8
13	(進路指導)学校は、上級学校や職業についての理解を深めるような学習活動を取り入れるなど、子どもの進路に関する細かな指導に努めている。	74.8	64.1	10.7
16	(学校行事の充実)授業参観や学校公開日、各種行事の実施日は、保護者や地域の方ができるだけ参加しやすい曜日に設定されている。	91.0	84.3	6.7

②考察) 全体的には、肯定的評価が高かった設問は、27の設問中16あり、学校の教育活動全般に関しては、おおむね肯定的であると考えられる。また、昨年度と比較し、肯定的評価が5パーセント以上、高くなった設問が、肯定的評価が80%以下の設問で、2つあり、学校の取り組みを評価している面が読み取れる。

また、設問13の進路指導の取り組みについては、体験活動の様子が保護者に伝わって来ている結果だと考えるが、学年で評価にバラツキがあるので課題が残る。また、もう少しで肯定的評価が80%越えることから、さらなる広報活動が必要だと考えられる。

(2) 保護者の設問で否定的評価が多めだった(C+Dが30パーセント以上)設問はなかったが、否定的評価が多めだったのは以下の設問である。

設問番号	設問内容	割合				
		C	D	A+B	C+D	E
11	学校は、子どもの学力の定着・向上のために工夫した授業を行っている。	20.6	1.9	71.6	22.6	5.8
12	(学習の規律の定着)授業は、話の聞き方や発表の仕方等の学習のルールが守られており、落ち着いた雰囲気の中で学習が進められている。	20.6	2.6	69.7	23.2	7.1
21	部活動は、子どもが生き生きと積極的に活動できるよう、開設数や内容等が工夫されている。	18.7	6.5	63.9	25.2	11.0

①昨年との比較で、肯定的な評価が下落した項目がある。

②考察) 11の設問は、下記の表に示したとおり肯定的評価が下落した設問である。設問12の授業規律に関する設問は、生徒の方も否定的評価の割合が多めだった。否定的評価は、F組<1年<2年<3年の順で多くなる。3年の保護者が授業は授業規律が守られていないと感じており、生徒の感じ方と差はある。授業規律の更なる徹底が次年度への課題となる。

また、設問21で否定的な評価が多いのは、小規模校ゆえの開設した部活動の数が少ないためである。特に、女子の校庭で活動する運動部が皆無であるのが、課題の一つである。生徒数の増加や顧問を担当できる教員の問題が解決できれば、検討すべき課題であると考えている。

③また、設問の中で、昨年と比べ、肯定的評価が5%以上下落した項目は、

設問番号	設問内容	24年度	23年度	差
25	学校は、子どもの体力向上や健康の促進に積極的に取り組んでいる。	72.3	78.4	6.1

④上記の設問25は、保護者の肯定的評価が前年度より下落しているが、生徒の方の同様の質問では、わずかながら上昇している。ゆえに、全般的に問題があるのではなく、一部に課題がある点がマイナス評価になっていると思う。また、保護者に伝わっていない部分もあると思うので、保健体育科と養護教諭と栄養士の三者が連携して、体力向上・健康促進・食育推進についての活動内容の確認と、保護者にアピールしていない部分を確認の上で、しっかりとした広報活動が

必要であると考える。

(3) (1)・(2) で触れなかった設問の結果について

設問番号	設問内容	割合				
		A	B	A+B	C+D	E
13	(進路指導)学校は、上級学校や職業についての理解を深めるような学習活動を取り入れるなど、子どもの進路に関する細かな指導に努めている。	16.1	58.7	74.8	13.5	11.6
17	学校は秩序があり、子どもたちは落ち着いて学習している。	12.9	66.5	79.4	14.2	6.5
19	学校は、事件や事故を未然に防ぐために、具体的な取り組み(名札の着用など)や実地訓練の充実に努めている。	21.9	56.1	78.1	14.2	7.7
20	学校は、「第三中学校区 小・中連携子ども育成プラン」を基に、小学校と中学校が連携を図り、9年間を見通して子どもたちを育成しようとしている。	23.9	55.5	79.4	10.3	10.3
23	学校は、家庭や地域との連携に積極的に取り組んでいる。	17.4	58.7	76.1	16.8	7.1
25	学校は、子どもの体力向上や健康の促進に積極的に取り組んでいる。	14.8	57.4	72.3	16.8	11.0
27	学校は人権教育・道徳教育を中心に『豊かな心』を養わせている。	20.0	54.2	74.2	16.8	9.0

①どの項目も肯定的評価が70%以上、否定的評価も20%以下となっている。

②考察)これらの項目は教育活動の充実により、肯定的評価あがる可能性を持っている。

設問17・設問25・設問27の数値を上げるのは、日々の指導内容の向上が必要になると考える。設問13・設問20・設問25には、「わからない」としている保護者が10%以上いるので、さらなる広報活動が必要であると考え。設問19も、取り組みがあまり広報されていない点であるので、情報発信が必要になると考える。さらに、設問13は、学年により肯定的評価にばらつきがあり、なぜか職場体験を実施している2年生で低めとなっている。次年度は、キャリア教育の充実に図り、上級学校と職業に関することは重要な進路指導であることを周知することで改善すると考える。また、設問23に関しては、保護者への日常のきめ細かい情報提供を全教員がこころがけることによって数値が改善すると考える。

3. 地域の設問の考察

(1) 地域の設問については、肯定的評価の経年変化を基に考える。

設問番号	設問内容	24年度	23年度	差
1	子どもたちは、充実した学校生活を送っている。	100.0	88.6	11.4
2	子どもたちは、仲良く学校生活を送っている。	93.8	87.8	6.0
3	教職員は、誠実に子ども・保護者・地域の方に接している。	100.0	89.4	10.6
4	学校と地域の連携は円滑に行えている。	100.0	84.6	15.4
5	学校の教育活動には共感できる。	100.0	100.0	0.0
6	学校の教育目標や指導の重点は、子どもや地域の実態に合った適切な内容となっている。	100.0	99.2	0.8
7	学校では、道徳の時間を含めた全教育活動をとおして、命を大切にすることや思いやりの心をもつ指導に努めている。	—	82.9	—
8	学校は、子どもの学力の定着・向上のために工夫した授業を行っている。	—	78.9	—
9	学校は、学校行事や生徒会活動、部活動の活性化に努めている。	93.8	90.2	3.6
10	学校は秩序があり、子どもたちは落ち着いて学習している(地域、教職員)	93.8	87.7	6.1
11	学校は、災害に対する知識や、自分の安全を守るための対処の仕方などを確実に身に付けさせるとともに、適切な行動選択ができるよう指導に努めている。	—	79.7	—
12	学校は、事件や事故を未然に防ぐために、具体的な取り組み(名札の着用など)や実地訓練の充実に努めている。	—	67.5	—
13	学校は、「第三中学校区 小・中連携子ども育成プラン」を基に、小学校と中学校が連携を図り、9年間を見通して子どもたちを育成しようとしている。(三校交流会をとおした部活動体験、授業交流、いじめ問題に対する意見交換会等)	—	75.6	—
14	学校は、学校や子どもたちの様子を分かりやすく伝えている。	93.8	95.1	-1.3
15	学校は、子どもの体力向上や健康の増進に積極的に取り組んでいる。	—	88.9	—

①地域の評価は昨年度と比較して上昇している。また数値も高めで好意的に学校を捉えているので、今後も積極的に広報活動を継続し、地域の財産としての学校の立場を守っていきたいと考える。

■「仲間力で 友達と認め合い」学校行事でまとまり いじめのない学校を…
卒業式に向けて協力し合って、より良い学級集団を創り上げよう